

平成 12 年度生物物理学会総会議事録

日時: 9 月 12 日 12:15~13:10

場所: 東北大学川内北キャンパス A200 室

参加 94 名 委任状 43 通 (定足数 100)

郷(通)会長の総会成立の報告と開会の挨拶に続き、第九代会長 右衛門佐 重雄氏の訃報が伝えられ、参加者全員による 1 分間の黙祷が行われた。

議事進行に先立ち、大木 H12 年会実行委員長より昨日現在で計 1149 名の年会参加登録があったとの報告があった。

(1)報告・承認事項

(1a)平成 11 年度決算報告

桑島委員より平成 11 年度決算報告がなされた。本決算の監査は郷 信広、宝谷紘一両氏によるとの説明があった。

平成 11 年度決算報告の要点は以下の通りである。

- ・収入において機関会員費・賛助会員費が減少した。
- ・雑収入の増加は昨年の理化学研究所における年会による。
- ・支出において運営委員会費が予算を超過しているが、これは泊まり込み運営委員会他による。
- ・学術会合費支出の増加は、各種援助金および若手の会への援助金増額による。

平成 11 年決算報告

収入	11 年予算	11 年決算
機関会員費	1,700,000	1,632,000
賛助会員費	700,000	560,000
海外会員費	140,000	131,225
一般会員費	21,000,000	21,093,000
入会金	300,000	298,000
広告収入費	6,000,000	7,029,200
雑収入	2,100,000	5,000,069
前年度繰越金	10,000,000	32,358,735

合計	41,940,000	68,102,229	
支出	11年予算	11年決算	
会誌出版費	10,100,000	10,987,565	
会誌発送費	2,000,000	2,062,832	
年会費	6,600,000	6,359,250	
名簿作成費	500,000	500,000	
委員選挙費	370,000	319,535	
運営委員会費	1,000,000	1,818,475	
委員会費	250,000	356,628	
学術会合費	300,000	743,180	
文部費	320,000	320,000	
事務費	1,000,000	1,273,961	
人件費	3,500,000	3,507,850	
センター業務委託費		4,700,000	4,827,516
広告経費	2,000,000	1,832,548	
事務局開設準備金		5,000,000	5,000,000
予備費	4,300,000	0	
次年度繰越金	0	28,192,889	
合計	41,940,000	68,102,229	

続いて郷会長より監査報告の紹介があった。両監査とも上記決算案を了承したことが説明された。ただし郷 信広氏より広告収入に対する依存性の高さに対する危惧の意見があったことが述べられた。学会の過去5年間の収支の経緯について以下の説明がなされた。平成7年は収支拮抗であった。その後会誌出版をリアライズ社へ移したことから出版費を押さえることができ、またこの間広告収入も好調であった。しかし、平成10年から再び会誌出版費が上昇に転じて平成11年は収支が拮抗している。

郷会長より、この経緯では来年度は赤字収支が見込まれることから、今年度より緊縮財政を行うことが説明された。

上記平成11年度決算は拍手により承認された。

(1b)平成 12 年度会計ならびに事業の中間報告、平成 12 年度の今後の計画

桑島委員より 12 年度中間決算の報告があった。平成 12 年度中間決算に関する要点は以下の通りである。

- ・会費収入については現在の会員数が継続するとの見込みに基づく数字である。今後も機関会員は減少すると予想される。他の会員数は今後多少増えるであろうと考えられる。
- ・雑収入には学会により出版された本の印税が含まれる。
- ・積立返済金は学会準備費用である。
- ・収入で利子の項は学会預金の利子をさす。
- ・支出は今年度半期 6 月末までの集計である。

平成 12 年度中間決算

収入	平成 12 年予算	平成 12 年中間決算
機関会員費	1,700,000	1,608,000
賛助会員費	700,000	520,000
海外会員費	140,000	129,585
一般会員費	21,000,000	18,761,800
内訳		
(正会員費)		(16,795,300)
(学生会員費)		(1,966,500)
入会金	300,00	75,000
広告収入費	6,000,000	3,517,500
雑収入	2,500,000	679,403
内訳		
(業務収入)	(1,660,000)	(630,685)
(積立返済金)	(840,000)	(0)
(利子)	(8,718)	
(その他)	(0)	(40,000)
小計	32,340,000	25,291,288
前年度繰越金	10,000,000	28,192,889
計	42,340,000	53,484,177

支出	平成 12 年予算	平成 12 年中間決算	
会誌出版費	11,200,000	6,140,410	
内訳			
(出版費)	(7,900,000)	(4,456,297)	
(原稿料)	(900,000)	(462,000)	
(編集費)	(1,400,000)	(785,235)	
(リ社事務費)	(400,000)	(208,878)	
(委員事務費)	(500,000)	(228,000)	
(会誌保管料)	(100,000)	(0)	
会誌発送費	2,000,000	818,395	
年会費	6,600,000	2,303,051	
名簿制作費	500,000	500,000	
委員選挙費	350,000	549,811	
運営委員会費	1,100,000	1,099,252	
委員会費	300,000	0	
学術会合費	500,000	240,120	
支部費	180,000	0	
事務費	1,000,000	829,074	
人件費	2,600,000	1,467,790	
センター業務委託		4,700,000	1,260,000
広告経費	2,000,000	928,368	
事務局開設準備費		5,000,000	5,000,000
予備費	4,310,000	1,760,058	
合計	42,340,000	22,896,329	

上記平成 12 年度中間決算は拍手により承認された。

続いて郷会長より以下に示す平成 12 年度学会事業の中間報告が行われた。

- ・ シリーズ・ニューバイオフィジックス第二弾の出版について。現在第 6 巻まで出版済。
- ・ 本年 5 月に東アジア生物物理シンポジウムが韓国慶州で行われた。日本から約 110

名の参加があった。

・学会の 40 周年記念事業として、公開シンポジウム「生物物理はいま？」が大会開催前日に行われ、盛況であった。

・また、同じく 40 周年記念事業として、高校生向けパンフレットを作成した。全国の高校等に約 9,000 部を配布した。前日の公開シンポジウム会場でも配布。学会 HP にも同内容コンテンツがあり、生物物理分野の研究室リンクを呼びかけた。高校生向けパンフレットの企画担当は豊島、片岡両委員であり、謝辞が述べられた。

・バイオインフォマティクス講習会が企画されている。期日は本年 11 月、会場は東京農工大である。講習会の企画担当は木寺委員であり謝辞が述べられた。

・「生物物理最前線」の出版計画が進行している。企画担当は美宅委員であり謝辞が述べられた。

続いて桑島委員より平成 12 年度補正予算の説明があった。毎年発生する繰越金を有効利用する目的で、特別会計が企画され運営委員会で承認された経緯が説明された。平成 13 年度より基本会計と別枠で、会誌電子化・将来事業特別会計を設立し、現在の事務局準備金 1,000 万円と繰越金 2,000 万円の計 3,000 万円を当てる。以下の平成 12 年度補正予算はこの特別会計創設により必要となった経過が説明された。

収入	予算
機関会員費	1,700,000
賛助会員費	700,000
海外会員費	140,000
一般会員費	21,000,000
入会金	300,000
広告収入費	6,000,000
雑収入	2,500,000
前年度繰越金	28,000,000
合計	60,340,000

支出	予算	
会誌出版費		11,200,000
会誌発送費		2,000,000
年会費	6,600,000	
名簿作成費		500,000
委員選挙費		350,000
運営員会費		1,100,000
委員会費		300,000
学術会合費		500,000
支部費	180,000	
事務費	1,000,000	
人件費	2,600,000	
センター業務委託費		4,700,000
広告経費		2,000,000
事務局開設準備金		5,000,000
予備費	2,310,000	
特別会計		20,000,000
(繰越金の一部)	(20,000,000)	
合計	60,340,000	

上記平成 12 年度補正予算は拍手により承認された。

#### (1c)平成 13 年度次期会長及び平成 13・14 年度役員選挙結果の報告

曾我部選挙管理委員長より平成 13 年度次期会長及び平成 13・14 年度役員選挙結果の報告がなされた。学会員による選挙で柳田敏雄氏が次期会長に選出されたとの報告があった。同じく委員の推薦と学会員による選挙を経て、平成 13・14 年度委員 25 名が新たに選出された。同じく委員による推薦と学会員による選挙を経て科研費審査委員候補の選挙が行われ。生理・機能・構造・物性の分野別にそれぞれ 6 名の第一段審査委員候補が選出された。第二段審査委員候補については 2 名が選出された。第 18 期学術会議生物物理学研連委員の候補に

ついで、本学会より順位つきで 10 名を推薦し、全員認められたとの報告があった。選挙結果は以下の通りである。

平成 13 年度次期会長 柳田 敏雄

平成 13・14 年度委員：相沢慎一、赤坂一之、有坂文雄、伊藤悦朗、宇高恵子、神谷律、加茂直樹、栗原和枝、七田芳則、柴田譲、真行寺千佳子、須藤和夫、高橋健一、谷藤学、津田基之、徳永史生、徳永万喜洋、豊島陽子、中村春木、永山国昭、広瀬恵子、深田吉孝、宝谷紘一、美宅茂樹、柳田敏雄

第 18 期日本学術会議生物物理学研究連絡委員候補者学会推薦者

阿久津秀雄、石渡信一、垣谷俊昭、木下一彦、郷通子、曾我部正博、月原富武、津田基之、八田一郎、宝谷紘一

平成 13 年度科学研究費補助金審査委員候補者学会推薦者

第一段：相澤慎一、城所俊一、桐野豊、後藤祐二、七田芳則、曾我部正博、西川建、西村善文、三木邦夫、三室守、吉川信也、吉田賢右

第二段：阿久津秀雄、川戸佳

前日 9 月 11 日に行われた新委員会における選挙により、副会長津田 基之氏が選出されたとの報告があった。また、新運営委員として、女性 2 名、若手 2 名、物理学会との連絡担当として 1 名、を含む 7 名が選出されたとの報告があった。

郷会長より、新次期会長柳田氏、新副会長津田氏、及び新運営委員の紹介があった。

続いて、次期会長柳田氏、副会長津田氏の挨拶があった。

(1d)平成 13 年度予算案および事業計画

桑島委員より、平成 13 年度予算案の説明があった。

- ・収入については、ほぼ例年通りとなっているが、機関会員費と雑収入の減少を見込んでいる。
- ・支出において、会誌出版費を緊縮する予定である。また年会準備金を 200 万円から 50 万円へ減額する。
- ・学会費会誌電子化に伴う人件費など約 100 万円について、特別会計からの支

出を予定している。

収入 予算

機関会員費	1,600,000
賛助会員費	700,000
海外会員費	140,000
一般会員費	21,000,000
入会金	300,000
広告収入費	6,000,000
雑収入	2,000,000
前年度繰越金	2,000,000

合計 33,740,000

支出 予算

会誌出版費	9,700,000
会誌発送費	2,000,000
年会費	4,800,000
名簿作成費	500,000
委員選挙費	500,000
運営員会費	1,100,000
委員会費	300,000
学術会合費	500,000
支部費	180,000
事務費	1,200,000
人件費	2,600,000
啓蒙事業費	100,000
センター業務委託費	4,800,000
広告経費	2,000,000
予備費	3,460,000
合計	33,740,000

以上の平成 13 年度予算は拍手により承認された。

郷会長より、来年度年会は今井年会実行委員長、柳田次期会長によって大阪大学で 10 月 6～8 日開催予定。再来年度の年会は垣谷実行委員長によって名古屋大学で開催予定であるとの補足説明があった。

## (2)名誉会員の推挙

郷会長より名誉会員の推挙について、会長経験者で 60 歳以上の内規があることが説明された。葛西道生氏が推挙され、承認された。郷会長より名誉会員認定証が授与され、続いて、葛西氏よりの挨拶が行われた。

## (3)その他

郷会長より、毎年 1 名改選される学会監事について、前会長松本 元氏が候補として推薦された。この推薦は拍手により承認された。監事候補者については、日本生物物理学会細則第五章第二十三条に従い、本年 12 月末までに正会員の 1/10 以上からの異議申し立てがない場合、委嘱する。

郷会長より現在の本学会員数について、正会員 2,437 名、学生会員 909 名、その他 187 名の計 3,533 名であるとの報告があった。

その他、伏見 譲氏より、2001 年 7 月 30 日～8 月 3 日京都で開催される第 4 回生物物理学国際会議の紹介と勧誘があった。